

1年次

保護者様

岡山県立邑久高等学校

校長 萩原 康正

新型コロナウイルス感染症に関する対応について

平素から、本校の教育活動へのご理解とご協力に厚く御礼申し上げます。

さて、1月13日付で岡山県の感染状況が「レベル2」に引き上げられました。そのことを踏まえ、新型コロナウイルス感染症に関する県立学校の行動基準が1月14日より、「レベル2」となります。岡山県内では1月13日から1月31日までオミクロン株特別警戒期間が設定されたことも踏まえ、これまで以上の危機意識を持って、感染症対策をお願いします。

つきましては、生徒の健康・安全を第一に考え、下記のことをご協力お願いいたします。

なお、新型コロナウイルス感染症対策については、日々状況が変化しているため、今後の状況によっては対応を見直す場合があることを申し添えます。

記

1 毎朝の健康観察の徹底等

- ・朝、必ず検温し、クロームブックより登校前までに健康観察票を提出してもらいます。発熱があった場合や、咳等の風邪の症状がある場合には、登校を控え自宅で様子を見るようにお願いします。同居の家族に風邪症状がある場合も同じです。
- ・登校後に発熱や咳等の風邪の症状が出た場合には、帰宅させることとなりますので、学校からの連絡に速やかに対応していただきますようお願いします。

2 マスクの着用、黙食の継続

- ・飛沫による感染リスクを最小限に抑えるため、引き続きマスクの着用をお願いします。また、飲食の場面では黙食を心がけてください。

3 使用教室の換気

- ・寒い日が増えるかと思いますが、授業中・休み時間問わず、窓を開け換気をいたします。ブレザーを着用した上への防寒着着用は認めます。

4 部活動

- ・感染症対策を講じてもなお感染のリスクが高い活動があることに留意し、「3つの条件(①換気の悪い密閉空間、②多くの人々が密集、③近距離での会話や発声)が同時に重なる場」を避け、更衣室は密を避けて短時間の利用とし、競技の特性を踏まえた可能な限りの感染症対策を行った上での活動を行いますのでご理解ください。

5 風邪症状がみられる時の対応

- ・もしお子様に、発熱・咳・喉の痛み等の風邪の症状が見られる場合は、まず、保護者の方より学校へ連絡・相談をしていただき、自宅で休養していただくこととなります。この場合は、これまでと同様「新型コロナウイルス感染症(疑い・予防を含む)に関する出席停止連絡票」を再登校時にご提出いただきます。なお、県立学校の行動基準のレベル2では「生徒等の同居の家族に発熱等の風邪の症状がみられる場合」は出席停止の対象となります。